

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	メイキング基礎実習 I			授業のねらい 靴の基本的な構造と制作技法を習得していく。また、靴にまつわる歴史的知識の学習や、靴を構成する革素材についての学習を行う。
担当教員	永尾、安井、紀井			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	616時間	単位数	19単位	到達目標
開講期間	2021.4.1～2022.3			靴の基礎的な紳士靴・婦人靴のパターンから縫製・底付けまでの一連の制作技法を学び、学生が自らの手で基本スタイルの靴を制作することができることを目標とする。
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習 I-1(靴の構造と基礎知識)			
	内容	靴の構造と基礎知識を学ぶ 靴の分解とレポートの提出		
	メイキング基礎実習 I-2(ダービーシューズ制作)			
	内容	紳士靴の構造、制作方法を学ぶ ミシン、漉き機の使用方法を学ぶ 足の計測・作業手順ノート又はレポートの提出		
	メイキング基礎実習 I-3(オックスフォードシューズ制作)			
	内容	素材を学ぶ 自分のサイズの木型で制作する 作業手順ノート又はレポートの提出		
	メイキング基礎実習 I-4(レディースパンプス制作)			
	内容	婦人靴の構造を知る 制作方法を知る		
	メイキング基礎実習 I-5(レディースサンダル制作)			
	内容	サンダルの底付け製法について学ぶ 中底加工技術の習得		
	メイキング基礎実習 I-6(メンズ基本パターン)			
内容	木型からフォーム～原型制作技術の習得 ダービーシューズパターン習得 オックスフォードパターン習得			
メイキング基礎実習 I-7(パンプス基本パターン)				
内容	パンプスパターン習得			
メイキング基礎実習 I-8(サンダルアッパー制作)				
内容	サンダルの基礎知識を学ぶ・足の基礎知識を学ぶ サンダル特有のパターンを学ぶ サンダルのクロージングを学ぶ			
メイキング基礎実習 I-9(スニーカーパターン制作)				
内容	オリジナルデザインの半面型の制作方法を学ぶ スニーカーの仕様を学ぶ			
メイキング基礎実習 I-10(スニーカーアッパー制作)				
内容	スニーカーのクロージングを学ぶ			
メイキング基礎実習 I-11(スニーカーアッパー制作)				
内容	スニーカーの底付けを学ぶ ウェッジソールの加工方法を学ぶ EVAの加工技術の習得			
履修上の注意事項	基本技法の習得のため、一つ一つの工程を丁寧に行うことが大事である			
評価方法	1. 各実習における実制作した靴のクオリティによる評価 2. 各実習における制作技法をまとめたレポートの内容による評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	オリジナルテキスト 【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	メイキング造形実習 I		授業のねらい 1年次に学ぶ制作技法を基に、基礎的なスタイルから各自のアレンジを加えオリジナルデザインの靴制作を行う。	
担当教員	永尾、安井、紀井			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	128時間	単位数	4単位	到達目標 各デザインに合わせた適切な制作構造と技法を選び、オリジナルデザインの靴を完成させることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)			
授業の計画展開	メイキング造形実習 I-1(オリジナルシューズ制作)			
	内容 一年間で学んだ制作技術を応用し、オリジナルシューズの制作			
履修上の注意事項	計画性をもち、基本技法の復習を兼ねて制作することが大事である			
評価方法	課題提出物のクオリティによる評価			
テキスト	オリジナルテキスト【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	デザイン基礎実習 I			授業のねらい デザイン画描写における基本的なデッサン技術を学び、靴の形体認識や立体物の陰影表現方法を習得する。またPCグラフィックソフトを利用した平面上における作品のプレゼンテーション技法を習得する。
担当教員	永尾、清水			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	152時間	単位数	4単位	到達目標
開講期間	2021.4.1～2022.3			鉛筆での描写や、マーカーを使ったデザインスケッチなど、様々なツールを使ったデザイン画作成と靴仕様書の為の線画作成ができることを目標とする。
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-1(スケッチ演習)			
	内容	デザイン画の為のデッサン・スケッチ練習(靴箱、石膏足型、足)		
	デザイン基礎実習 I-2(デザイン史、トレンドからの演習)	32	1	
	内容	国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成		
	デザイン基礎実習 I-3(デザイン画ドリル演習1)			
	内容	ドリルを使ったトレーニング、マーカー描写技術の習得		
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-4(デザイン画ドリル演習2)			
	内容	ドリルを使ったトレーニング、マーカー描写技術の習得		
履修上の注意事項	物の立体感と素材感をよく観察することが大事である			
評価方法	各課題における提出物のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	オリジナルテキスト 【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	デザイン造形実習 I			授業のねらい 立体切削や立体コラージュの課題を通して基礎造形を学び、シューズデザインの為の感覚を養う。また各課題を通して、様々な素材の扱い方や道具の使用方法を学ぶ。
担当教員	永尾、清水			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	96時間	単位数	3単位	到達目標 立体に対するバランス感覚を身につけることを目標とする。また様々な素材の探求や実験を行い、オリジナリティの高いシューズデザインを展開できる力を身につけることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	デザイン造形実習 I-1(コラージュによる造形演習) 内容 身の回りのものを使ったコラージュ練習 デザイン造形実習 I-2(オリジナルデザイン制作) 内容 クリエイターとしての興味をリサーチする インスピレーション～実験～デザイン展開の流れの習得 デザイン基礎実習 I-3(グラフィックソフト演習) 内容 オリジナルシューズ制作におけるポートフォリオ制作			
履修上の注意事項	授業内での造形に対する積極的考察姿勢と、日常生活において展覧会や様々なものを観察することが大事である			
評価方法	課題提出物のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	オリジナルテキスト 【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	コンピューター実習 I		授業のねらい Rhinocerosソフトを使用し、基本的な3DCADソフトの操作方法を知る。	
担当教員	本多			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 各自がデザインしたシューズ用金具やアクセサリを造形可能な形状に完成させることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	コンピューター実習 I -1 (RhinocerosによるCADソフト実習) 内容 Rhinocerosの基本操作／立体作成チュートリアル／造形の為の留意点説明 オリジナルデザイン金具制作			
履修上の注意事項	造形可能な形状であること(各部位の寸法、パーツ同士のクリアランス、閉じた形状)			
評価方法	デザイン、機能、CADソフト操作能力を総合的に評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ			授業のねらい 一年次に習得した基礎技術の復習と、新しい技法のバリエーションを習得していく。また靴商品製造工場への見学研修などにより現場を知る学習を行う。
担当教員	永尾、紀井、土屋、安井			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	416時間	単位数	13単位	到達目標
開講期間	2021.4.1～2022.3			靴の基礎技術を定着させ、企業就職に必要な最低限の技術を身につける。また、紳士靴における複数の底付け製法の習得、婦人靴における複数のパターン技法の習得を目標とする。
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝土屋(靴職人)、紀井(シューズ企画開発)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(モンクストラップシューズ制作)			
	内容	モンクストラップシューズパターンを学ぶ グッドイヤーウェルテッド製法を学ぶ		
	メーキング基礎実習Ⅱ-2(靴制作分業実習)			
	内容	デザイナーとしての各工程に対する責任を負い、的確な指示を行う 習得した技術を用いて指定された仕様の靴を制作する		
	メーキング基礎実習Ⅱ-3(ブーツ制作)			
授業の計画展開	内容	フィット、ルーズタイプのブーツパターンの習得、ファスナーの取り付けを学ぶ クリッピング技術習得、スタックドヒール制作		
	メーキング基礎実習Ⅱ-4(量産体験実習)			
授業の計画展開	内容	販売を前提とした靴制作、コストと生産効率を考え制作する 時間内にクオリティーを高く生産する		
履修上の注意事項	技術向上・技術定着の為、目標を定め、反復的な実習トレーニングを行う事が大事である			
評価方法	1. 各実習における実制作した靴のクオリティによる評価 2. 各実習における制作技法をまとめたレポートの内容による評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	オリジナルテキスト【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	メイキング造形実習Ⅱ			授業のねらい 靴制作の技術だけでなく、靴の基礎となく木型についての知識と木型制作におけるノウハウを知る。木型の形状とデザインの関係性、また木型の形状と足の関係性についても学習する。
担当教員	永尾、紀井、土屋、安井			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	328時間	単位数	10単位	到達目標
開講期間	2021.4.1～2022.3			各自の思い描くデザインに対する適切な木型の形状を選択・制作できる感覚を養うことを目標とする。また、足の計測方法を学び、足に合った木型の制作・修正を行うことを目標とする。
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝土屋(靴職人)、紀井(シューズ企画開発)			
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅱ-1(イメージからの木型制作)			
	内容 デザインと木型と靴の関係を学ぶ、型に合ったデザインを知る			
	メイキング造形実習Ⅱ-2(足の計測から木型制作)			
	内容 足を計測し木型を制作する 足と靴のフィッティングについて学ぶ			
履修上の注意事項	計測などのリサーチ内容をどのように木型や靴の形状へと展開するのかをよく考察することが大事である			
評価方法	各実習における実制作した作品のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	オリジナルテキスト【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	デザイン基礎実習 II			授業のねらい ブランド企画からマーケットリサーチ、トレンドリサーチなど、業界におけるシューズインハウスデザイナー／プランナーに必要なリサーチ業務、デザイン展開を学ぶ。
担当教員	清水、日置			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	208時間	単位数	6単位	到達目標 ブランド立案からデザイン画によるコレクション作成まで、インハウスデザイナーとしてのスキルを身につけることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=日置(シューズデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 II-1(ポートフォリオ制作) 内容 学内就活イベント“HELLO”用ポートフォリオ制作 デザイン基礎実 II-2(デザイン史、トレンドからの演習) 内容 国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成 デザイン基礎実習 II-3(デザイン仕様書作成) 内容 外部生産に向けた仕様書作成を学ぶ デザイン基礎実習 II-4(マーケティング演習) 内容 マーケティング戦略リサーチを学ぶ デザイン基礎実習 II-5(ブランディング演習) 内容 ブランディングと商品プロモーションを学ぶ			
履修上の注意事項	ブランドやマーケットのリサーチにおいて、日常的に世の中で売られている商品郡をよく観察する事が大事である			
評価方法	各実習における実制作した作品のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	オリジナルテキスト【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	デザイン造形実習 II			授業のねらい 二年次に学ぶデザイン企画の知識と培ってきた描写技術を用いて、企業間におけるデザイン開発を体験し、企業に対する新規デザインの提案を行う。
担当教員	清水			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 連携企業の理念やブランドコンセプトに沿ったデザイン展開を行い、商品企画力を身につけることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	デザイン造形実習 II-1(商品開発体験実習) 内容 靴メーカーとの連携授業			
履修上の注意事項	企業からの企業理念とブランドコンセプト、現状の商品をよくリサーチすることが大事である			
評価方法	各実習における実制作したデザイン画・仕様書のクオリティによる評価			
テキスト	オリジナルテキスト【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	コンピューター実習 II		授業のねらい Rhinocerosソフトを使用し、基本的な3DCADソフトの操作方法を知る。	
担当教員	本多			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 各自がデザインした婦人靴用ヒール制作の為にデータを完成させられることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	コンピューター実習 II-1 (RhinocerosによるCADソフト実習) 内容 Rhinocerosの基本操作／立体作成チュートリアル／造形の為の留意点説明 オリジナルデザインヒール制作			
履修上の注意事項	造形可能な形状であること(各部位の寸法、パーツ同士のクリアランス、閉じた形状)			
評価方法	デザイン、機能、CADソフト操作能力を総合的に評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			